

11月 ギャラリー& 県民講座

**あびこ市民プラザ**  
 ◆第62回我孫子市民文化祭 絵画展  
 日2日(土)～6日(水)10時～18時(最終日15時30分まで)  
 問山田☎7184-1230  
 ◆第62回我孫子市民文化祭 書道展  
 日9日(土)～13日(水)10時～17時(最終日16時まで)  
 問河野☎7182-9065  
 ◆第31回習作展  
 日15日(金)～20日(水)10時～17時(初日12時～、最終日16時まで)  
 問中嶋☎7188-2200  
 ◆第28回あびこ国際交流まつり  
 日24日(日)11時～16時  
 問我孫子市国際交流協会☎7183-1231  
 ◆芳書会作品展  
 日29日(金)～12月4日(水)10時～17時(初日13時～、最終日16時まで)  
 問木村☎7188-1094

**図書館 1日(金)～30日(土) 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)**  
 湖北台分館ミニギャラリー  
 企画展「友の会展」プレ展示 鳥の博物館友の会  
 布佐分館ミニギャラリー  
 編み物 手編の会 菜の花

**アビスタストリート(中央通路)**  
 開館時間：9時～21時 休館日：25日(月)  
 ◆JBF2019「鳥に魅せられ描くアーティスト達」  
 日2日(土)・3日(日)(2日9時30分～、3日15時30分まで)  
 問手賀沼課☎7185-1484  
 ◆我孫子のいろいろ八景歩き  
 日5日(火)～15日(金)(初日10時～、最終日15時まで)  
 問都市計画課景観推進室☎7185-1529  
 ◆企画展示「奥の細道」の旅を知る  
 日19日(火)～30日(土)(最終日20時まで)  
 問図書館☎7184-1110

**けやきプラザ 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)**  
 第1ギャラリー  
 ◆水葉会 筆ペン作品展  
 日～4日(月)10時～18時(最終日16時まで)  
 問小竹☎7173-8272  
 ◆第22回障害者雇用促進就職面接会  
 日8日(金)13時～15時30分  
 問ハローワーク松戸☎047-367-8609(31#)  
 第2ギャラリー  
 ◆陶板展  
 日～3日(祝)10時～17時(最終日16時まで)  
 問松崎☎090-1770-2799  
 第1・2ギャラリー  
 ◆「平和の集い～我孫子から平和を願う～」展  
 日20日(水)～12月1日(日)9時～19時(最終日17時まで)  
 問企画課・内線212

**アビシルベ 問 ☎7100-0014**  
 開館時間：9時～18時  
 ◆JBF PRイベント「ちょっと先取りJBF」  
 日～3日(祝)  
 ◆市民文化祭書道展PR展示  
 日5日(火)～13日(水)(初日11時～、最終日17時まで)  
 ◆東葛飾地区中学校駅伝競走大会写真展  
 日6日(水)～13日(水)  
 ◆アビストリーム「アビスト de Night☆」LIVE放送  
 日15日(金)18時～19時  
 ◆「平和の集い～我孫子から平和を願う～」展  
 日20日(水)～12月1日(日)(最終日17時まで)

**けやきプラザ県民講座・講習**  
 ◆免疫力の高め方  
 日6日(水)13時30分～15時30分 所7階研修室  
 講師若山美砂子さん(千葉県ヤクルト販売(株)食生活アドバイザー) 定60人  
 ◆便秘治療の最前線  
 日15日(金)10時～12時 所9階ホール  
 講師辻純一郎さん(元昭和大学医学部客員教授) 定100人  
 ◆市民の助け合いが地域を救う  
 日15日(金)13時30分～15時 所9階ホール  
 講師粉川一朗さん(武蔵大学教授) 定100人  
 ◆介護って気にならませんか  
 日27日(水)13時30分～15時30分 所7階研修室  
 講師宮本厚土さん(シニアライフアドバイザー) 定60人

けやきプラザ県民講座・講習 問・問 電話で住所・氏名・電話番号を明示。千葉県福祉ふれあいプラザ☎7165-2886 受講料 無料(要申込・先着順) 休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日火曜日)※専門職対象県民研修はホームページwww.furepla.jpをご覧ください。

ふるさと納税の現状  
 ～市の財源が大幅に減収～

市では、手賀沼の保全や施設の整備、災害対策など目的ごとに基金を設け、皆さんからの寄付を活用し、まちづくりに役立てています。しかし、他市へのふるさと納税により、市の財源が大幅に減収しています。 問 財政課・内線223

**◆ふるさと納税で市の税収が減っています** **現状**  
 毎年全国の方から温かい善意を頂いていますが、一方で市民の皆さんが他自治体へふるさと納税をすると、金額の一部が住民税から控除され、市の税収が減る仕組みになっています。過熱する返礼品競争の影響から、ふるさと納税による我孫子市税の減収額は年々増加しています。平成30年に市民の皆さんが他自治体へ寄付したことによる令和元年度の減収額は、約2億2000万円となっています。ふるさと納税による減収額の75%は、地方交付税で補填されていますが、減収額が拡大していくと市民サービスへの影響が懸念されるなど大きな危機感を持っています。市は住民税が減収しないよう国税である所得税からの控除で対応する仕組みなど、制度の見直しを国へ要望しています。



**◆平成30年度市へのふるさと納税** **実績**  
 件数 582件 寄付金額 1272万9000円  
 寄付金は、平成30年度に実施した事業や各特定目的基金へ積み立て、趣旨に沿った事業の財源とさせていただきます。多くの皆さんから寄付をいただきありがとうございました。※寄付金の使い道など詳しくは市ホームページをご覧ください。

**◆ふるさと納税に新たな手法を取り入れています** **挑戦**  
 はしご付き消防自動車の整備に、クラウドファンディングの手法を用い、全国の方から240万円の寄付が集まりました。今後もクラウドファンディングを用いた寄付を検討していきます。



令和元年台風第19号災害義援金

令和元年台風第19号に伴う災害により、各地に甚大な被害が生じました。この災害で被災された方々を支援するため、市では我孫子市社会福祉協議会と協力して、義援金の受け付けと募金箱の設置をしています。皆さんのご協力をお願いします。  
**義援金の受付場所** 我孫子市社会福祉協議会、各地区社会福祉協議会(我孫子北・我孫子南・天王台・湖北・湖北台・布佐)、西部福祉センター  
**募金箱の設置場所** 市役所本庁舎1階ロビー、各行政サービスセンター、各近隣センター、アビスタなど  
 問 社会福祉課・内線649、我孫子市社会福祉協議会☎7184-1539

**さらり あびこ 散策 92**

**サカ工橋** 布佐3012付近

みなさん、こんにちは。今回は布佐小学校から国道356号に出て右へ曲がります。すると、左手に布川(利根町)へと渡る栄橋が見えてきます。江戸時代、布佐と布川を行き来するには、渡し船が必要でした。大正時代に入ると人々の往来が活発になるとともに、近代化した重装備の軍隊の砲車や軍馬を船で渡すことが困難となりました。そこで、大正10(1921)年に橋を架ける請願書を県に提出し、翌年には布佐布川間利根川架橋期成同盟会が結成されました。前回お話しした松岡鼎もその一員でした。橋の建設には国や県からの援助を受けなかったため、通行料を建設費に充てるために「賃取り橋」として、昭和5(1930)年に開通しました。この時の布佐町長は松岡鼎でした。松岡の実弟・柳田國男著『故郷七十年』によると、松岡は県境のため「境橋」と名付けましたが、彼の出身地・兵庫独特のなまりで「イ」と「エ」の発音が混同され、議会で「サカ工橋」と採決されてしまいました。もともと、松岡は布川の開業医でしたが、布佐に医者がいなかったため転居しました。もしかすると、自ら縁のある布佐・布川の地が「サカ工」することを祈って「栄橋」を採用したのかもしれませんが、なお、表題の横にある住所は、初代栄橋の場所です。ぜひ、現在の場所と比べてみてください。